

2022 年度「保育内容研究・表現Ⅱ（図工）後期」（演習科目）

到達目標

- ・ 幼児の造形表現に関わる専門的な知識や技能などを習得することができる。
- ・ 子どもの心身の発達を理解し、発達や個に応じた適切な造形表現の支援の仕方などを習得することができる。
- ・ 造形表現の方法や内容について学ぶ中で、自己の学修を振り返り省察改善をする力を身に付けることができる。

	項目・内容	学習者に習得させたい資質・能力	レベル 4	レベル 3	レベル 2	レベル 1
1	本時の演習の内容を知り，意欲的に取り組もうとする。	演習への興味・関心・意欲・態度	演習について関心をもち主体的に意欲的に取り組むことができる。	演習について関心をもち意欲的に取り組むことができる。	演習について関心をもち取り組むことができる。	演習について関心をもち意欲的に取り組むことができない。
2	演習の課題についてどのような表現物を製作するのかイメージを広げる。	発想力・アイデア	教師の提示に応じて様々に想像したり，イメージを広げたりしてその表現内容や方法について想起できている。	教師の提示に応じて様々に想像したり，イメージを広げたりすることができている。	教師の提示に応じて自分なりに想像したり，イメージを広げたりすることができている。	教師の提示に応じて様々に想像したり，イメージを広げたりすることができていない。
3	表現物を製作するための方法について見通しをもつ。	構想力・見通し	表現したいものについてその内容や方法について明確な見通しを持つことができている。	表現したいものについてその内容や方法について見通しを持つことができている。	表現したいものについてその内容や方法について見通しを十分持つことができていない。	表現したいものについてその内容や方法について全く見通しを持つことができていない。
4	表し方を考え工夫しながら表現物を製作する。	思考・判断 試行錯誤	表現したいものについて試行錯誤しながら粘り強くつくり続けようとしている。	表現したいものについて試行錯誤しながらつくろうとしている。	表現したいものについてあまり深く考えずにつくろうとしている。	表現したいものについてあまり深く考えずにつくろうとしている。
5	自分のイメージに近づくように手際よく表現物を製作する。	技能・スキル	手際よく用具や材料を使いこなし，表現したいものをつくっている。	用具や材料を使いこなし，表現したいものをつくっている。	教師の支援を受けながら用具や材料を使い，表現したいものをつくっている。	教師の支援を受けながらも表現したいものをつくることができていない。
6	自分のイメージに近づけるために表現方法や表し方を考えながら製作する。	イメージを具体化する力 作品の質を高める工夫	自分のイメージや意図に合った適切な表現方法を駆使し表現し続けることができている。	自分のイメージや意図に合った適切な表現方法を見つけ表現することができる。	自分のイメージや意図に合った表現方法を見つけ自分なりに表現することができる。	自分のイメージや意図に合った適切な表現方法が見つからず，表現することができない。
7	よりよい表現をするために積極的に友だちと情報交換する。	コミュニケーション力 材料や友だちとの有効な交流	表現する過程において友人や教師と表現方法や内容について積極的に情報交換ができる。	表現する過程において友人や教師と表現方法や内容について情報交換ができる。	表現する過程において友人や教師と表現方法や内容について情報交換があまりできない。	表現する過程において友人や教師と表現方法や内容について情報交換がまったくできない。
8	自他の表現物について，よさや工夫した点などのついて感じ取る。	鑑賞力 豊かな感受性 自他の作品のよさを見つける	友だちの表現のよさや美術作品のよさを十分感受することができる。	友だちの表現のよさや美術作品のよさが分かる。	教師の支援を受けながら，友だちの表現のよさや美術作品のよさが分かる。	友だちの表現のよさや美術作品のよさが分からない。
9	講義や演習について整理・分析し，自分の表現を振り返り，次時への課題などを見つける。	振り返り・気付き 講義や演習の成果の考察 次時の課題を見つける	自己の表現をモニタリングし，成果と今後の課題を明確に見出すことができている。	自己の表現をモニタリングし，今後の課題を見出すことができている。	教師の支援を受けながら自己の表現をモニタリングし，今後の課題を見出すことができている。	自己の表現をモニタリングすることができない。